

# SHODAIリカレントTV

## 概要資料

<自治体職員様向け>





片山 善博  
(大正大学地域構想研究所 所長)

自治体を切り盛りされている自治体運営に当たっておられる職員の皆さんには、日常の業務執行のほか重要な政策形成や予算の編成、災害への備え、議会対応など、日々ご苦労が絶えないことと拝察いたします。

私もかつて知事や幹部職員を務めた経験がありますが、そこで痛感したことの一つは、毎日の仕事に埋没することなく、常に新しい知識を身に着け、時代の変化に的確に対応することの大切さでした。

今、わが国は人口減少というかつて経験したことのない時代に突入しています。そこではこれまで通用してきた経験や知識では対応できないことが多く、旧来の考え方を改め、発想の転換を余儀なくされることがしばしばです。

このたび大正大学が新たに始めるSHODAIリカレントTVは、こうした時代にあって職員の皆さんにうってつけの学びの機会を用意するものです。ぜひこの講座を通じて、変化が激しく困難な課題がますます多くなる時代を乗り切っていただくことを願っています。

また、これも知事や幹部職員を務めた私の経験に基づくことですが、自治体運営の持続可能性を考えたときに忘れてならないことは、次の時代を担う職員を育成することです。

この新しい講座はそうした幹部をめざす職員の皆さんにも受講して頂ける内容を盛り込んでいます。この講座を将来の自治体を担う人材の育成プログラムとしても活用して頂けるよう強く願う次第です。

2026年5月上旬開始



# SHODAIリカレントTV

shodai recurrent tv

大正大学が  
本プログラムの運営事務局として  
学習プログラムを提供します。

「Well-Being」を理念に、  
すべての人々の心が豊かで、  
幸せな生活を送るためのコンテンツを提供します

大正大学の特色を生かしたコンテンツを  
実践も通じて学んでいただけます

1

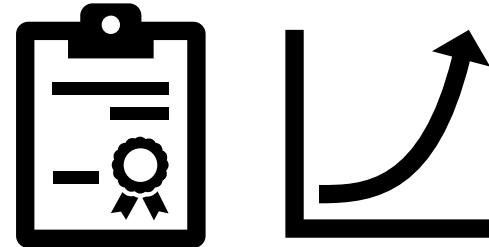
大学の専門性や、  
地域と連携した講座



長年にわたり培ってきた知見を基盤に、地域と連携し、本学ならではの特色あるコンテンツを提供します。  
大学の専門性と、現場とのつながりを生かした学びをご体験ください。

2

学びを促進する  
学習管理システム

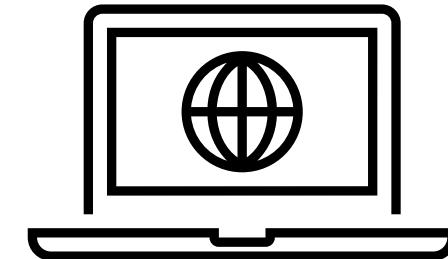


日々の学びを継続的に支援するために、学習管理システム（LMS）を導入しています。  
今後は、修了証明や学びの可視化を可能にする「オープンバッジ※機能」を導入予定です。

※学習やスキルをデジタルで証明するデジタルバッジ

3

いつでも、どこでも  
受講可能



ご自宅でも、通勤中でも、スマートフォンやタブレット、PCがあれば、いつでもどこでもご受講いただけます。  
ご自身のペースで、無理なく学びを続けていただけます。

## ◆講座

### 政策形成・組織マネジメント・地域との協働・

### ガバナンスの再構築

といった幅広い領域にわたり、  
実務に根ざした知識と理論を結びつける実践型の学びを提供します。

自治体が直面する人口減少・地域経済の縮小・多様化する住民ニーズに対応するためには、  
先見性と実行力を備えたリーダーの育成が不可です。

私たちは、知のネットワークを通じて、全国の自治体間の協働を促進し、  
公共の未来を切り拓く人材の輩出を目指します。

対象	自治体に勤務する職員
形式	映像講座+資料提供（オンデマンド）
講師	実務経験豊富な専門家・研究者

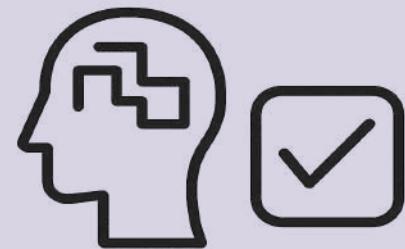
受講によって  
得られる

# 学び

リーダーとしての視座



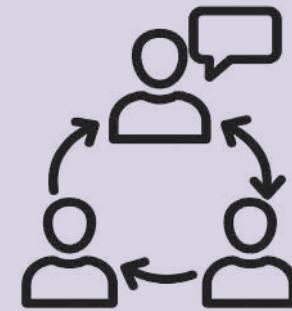
論理的思考と  
意思決定力



マネジメントと  
人材育成スキル



自治体間の  
知見共有と相互学習



## ◆サービス



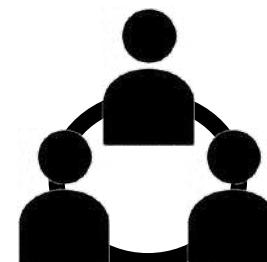
### 地方紙の新聞記事データベースの利用が可能

新聞記事の検索・閲覧をすることが可能です。社会問題や時事テーマの具体的な事例を収集や地域に根ざした研究資料の発掘など、教育・研究のあらゆる場面で活用出来ます



### 新聞記事の要約をプッシュ型で情報を配信

課題の取組の過程において、本学のチューターより課題の取組に有用な情報(新聞記事の要約など)をプッシュ型で配信を予定



### 受講者同士のコミュニティ形成による学習支援

全国の自治体職員による課題の取組みにおける受講者同士のコミュニティ形成を支援いたします。意見交換会や発表会などの交流の場をオンライン上で設ける予定です。

	講師	講座名	内容
01	片山 善博 (大正大学 地域構想研究所 所長)	自治体経営に求められる7つの実践知	地方創生1.0から2.0を経た次の時代に必要な自治体経営の実践知を説く。自立的思考・組織改革・共創などを通じ、地域の自走力を高めるリーダー育成講座
02	小峰 隆夫 (大正大学 地域構想研究所 客員教授)	人口減少下の地域を考える スマートシルリンクへの道	日本全体および地域人口の展望から人口減少と経済の動向を解説 地域間連携や社会資本の再整備などスマートシルリンクに向けた地域の取組みを紹介
03	山中 昌幸 (大正大学 地域構想研究所 地域支局研究員)	離島活性化人材育成プログラム	離島の課題解決と持続可能な地域運営を担う人材を育成する講座。観光、教育、産業、福祉を横断的に結び、地域資源を生かした自立型まちづくりを実践的に学ぶ
04	稻井 達也 (大正大学 教授・附属図書館長)	公立図書館再生プログラム	公立図書館の基礎から運営、国内外の事例、サービス多様化、マネジメント、未来構想までを体系的に学び、実践課題を通じて、持続可能で包摂的な図書館の実現を目指す
05	西條 辰義 (大正大学 地域構想研究所 招聘教授)	フューチャー・デザイン	将来世代の視点から今を見直す「フューチャー・デザイン（FD）」を体系的に学ぶ。未来起点の地域政策づくりを実践し、世代を超えた意思決定力を育むリーダーのための入門講座
06	中島 ゆき (大正大学 地域構想研究所 主任研究員)	実践データ分析入門	公的統計データを活用し、地域課題を“見える化”する分析力を養う講座。e-StatやRESASを使った実践的演習を通じ、感覚的判断からデータに基づく政策立案への転換を目指す
07	調整中	DXとAI活用演習	行政・地域経営におけるDXとAIの実践的導入を学ぶ講座。デジタル化による業務効率化だけでなく、住民サービスの質向上とデータ活用による政策革新を目指す
08	岩浅 有記 (大正大学 情報科学部 准教授)	アドベンチャーツーリズム	地域創生と観光の融合をテーマに、自然・文化資源の活用やアドベンチャーツーリズムを通じた地域活性化の理論と実践を体系的に学ぶ自治体職員向け講座
09	島谷 幸宏(熊本県立大学 特別教授) 古田 尚也(大正大学 情報科学部 教授)	デジタル技術と自然の活用した 「グリーンインフラ」豪雨災害から命を守る	気候変動時代の防災と環境共生を見据え、流域治水とグリーンインフラを軸に、IoTや共創の仕組みを用いた持続可能な地域づくりを学ぶ実践的リカレント講座
10	森枝 卓士(大正大学 客員教授) 島村 奈津(ノンフィクション作家)	地元ならではの“食”から始まる地域活性	地域食文化や民宿経営、災害復興などを通じて、食を起点に人と地域を結び直す実践例を学ぶ。能登や水俣など多彩な現場から持続的地域活性化の知恵を探る講座

# 自治体経営に求められる 7つの実践知

片山 善博

大正大学地域構想研究所 所長  
元鳥取県知事、元総務大臣



01	地方創生のパラダイムシフト	地方創生のこれまでの10年間を振り返りつつ、1.0から2.0への転換点を明確に示します。 国依存から地域自立への意識転換を促すことを主目的とします
02	自治体のガバナンス	信なくば立たず－自治体が住民の信頼を得るために必要な条件を説く
03	自治体組織・運営の変革	社会や住民意識の変化に応じて自治体の組織・運営を変革するための手法を説く
04	「知の地域づくり」と教育、図書館	国の「知的立国」と平仄を合わせて「知の地域づくり」を進めるための方策を説く
05	防災・減災－被災の痛手ができるだけ小さくするには	あらゆる行政の基礎は地域の安全である。大地震などの災害からどうやって住民と地域を守るか。そのために必要な心得と方策を説く
06	地方自治と地方分権	自治体が自主性、主体性を持って自治行政を展開するための仕組みを説く
07	地方議会とのあるべき向き合い方	議会の機能と役割をリスペクトし、協働しながら議会を賢く活用する術を説く

# 人口減少下の 地域を考える

小峰 隆夫

大正大学地域構想研究所 客員教授  
元国土交通省国土計画局長



01	日本の人口展望	日本全体の人口動態と少子化の進行、外国人流入、地域別人口変動を把握し、将来の展望を探る
02	地域の人口展望	自治体単位での人口推移や地域格差を分析し、地方創生や都市集中の問題を考察する
03	出生率からみた人口減少	出生率の構造的低下要因を明らかにし、少子化対策や地域の持続的な人口維持策を検討する
04	人口と経済 人口が減ると経済は縮むのか	人口減少が経済に与える影響を分析し、労働力不足や地域経済維持に向けた対応策を論じる
05	スマートシルクリングに向けた地域の対応	人口縮小社会を前提に、コンパクトで持続可能な地域設計「スマートシルクリング」の実践を紹介

# 公立図書館 再生プログラム

## 稻井 達也

大正大学教授・附属図書館長



01	公立図書館の基礎と役割	公立図書館の定義、自治体との関係、地域社会での意義、法制度、職員の専門性を学び、図書館の基盤的理解を深める
02	国内外の図書館事例紹介①	国立国会図書館や地方・海外の先進図書館を通して、建築・運営・地域連携など多様な図書館モデルを比較し学ぶ
03	図書館サービスの多様化	デジタル化や多文化共生、高齢者・障がい者支援、子ども・若者支援、地域イベント連携など多様な利用者対応を学ぶ
04	国内外の図書館事例紹介②	国内外の先進館事例から、市民参加型運営、観光・教育連携など多面的な図書館の発展形を理解する
05	図書館運営とマネジメント	予算管理、人材育成、市民協働、危機対応、評価指標など、図書館運営に不可欠な実務とマネジメント手法を習得する
06	未来の図書館像	AI・ICTの活用、持続可能性、教育機関との連携、ブランディング戦略を通じ、未来志向の図書館像を構想する
07	実践と応用	国内外の演習課題を通じて理想の図書館像を具体化し、インクルーシブでサステナブルな図書館実現への方策を考察する

# フューチャー<sup>+</sup> デザイン入門

## 西條 辰義

大正大学地域構想研究所 招聘教授  
フューチャー・デザイン代表理事



01	なぜフューチャー・デザインなのか	将来世代の視点で今を見直し、未来のために変える意思決定の意義と実践を学ぶ
02	将来可能性を発揮する仕組み	社会的・世代間ジレンマを乗り越え、未来を創る仕組みと責任ある行動を探る
03	矢巾町FDと体験型FD — 実践	矢巾町などの事例を通じ、体験型FDによる地域変革と参加者の意識変化を理解
04	世界遺産FDと様々なFD	三池炭鉱などの実践例から、多様な地域でのFDの方法と市民参加の意義を考察
05	フューチャー・デザインのこれから	各地の実践者の変化を追い、過去・現在・未来をつなぐ新しい意思決定の展望を描く

下記の20科目から4科目の選択が可能

① 自治体経営に求められる  
7つの実践知  
片山 善博（大正大学地域構想研究所所長）

② 人口減少下の地域を考える  
小峰 隆夫（大正大学地域構想研究所客員教授）

<b>分野A</b>	③ 「離島活性化人材育成プログラム」	④ 公立図書館再生プログラム 稻井 達也(大正大学教授・附属図書館長)	⑤ フューチャー・デザイン 西條 辰義(大正大学地域構想研究所招聘教授)	
<b>分野B</b>	⑥ データ分析			
<b>分野C</b>	⑧ アドベンチャーツーリズム	⑨ デジタル技術と自然の活用した 「グリーンインフラ」で 豪雨災害から命を守る	⑩ 地元ならではの“食”から 始まる地域活性	
<b>PBL</b> (Project Based Learning) 課題解決型研究	⑪ 空き家・移住対策	⑫ 防災・減災・自然災害	⑬ 地域交通	⑭ 地域間連携事業
	⑯ 地域の伝統工芸	⑰ 地域物産の振興と活用	⑱ 地域の伝統行事	⑲ 中心市街地の活性化
				⑳ 外国人就労問題



## 受講者A

- ・〇〇市役所職員
- ・地域振興課所属
- ・職員歴 3年

【分野A】  
「離島活性化人材育成プログラム」

【分野A】  
フューチャー・デザイン  
西條 辰義（フューチャー・デザイン代表理事）

【分野C】  
地元ならではの“食”から  
始まる地域活性

【分野C】  
デジタル技術と自然の活用した  
「グリーンインフラ」で  
豪雨災害から命を守る



## 受講者B

- ・〇〇市役所職員
- ・経済観光部
- ・職員歴 10年

人口減少下の地域を考える  
小峰 隆夫（元国土交通省国土計画局長）

【分野B】  
データ分析・DXとAI活用演習

【分野C】  
アドベンチャーツーリズム

【PBL】  
地域交通



## 受講者C

- ・〇〇市役所職員
- ・地域行政課所属
- ・職員歴 20年

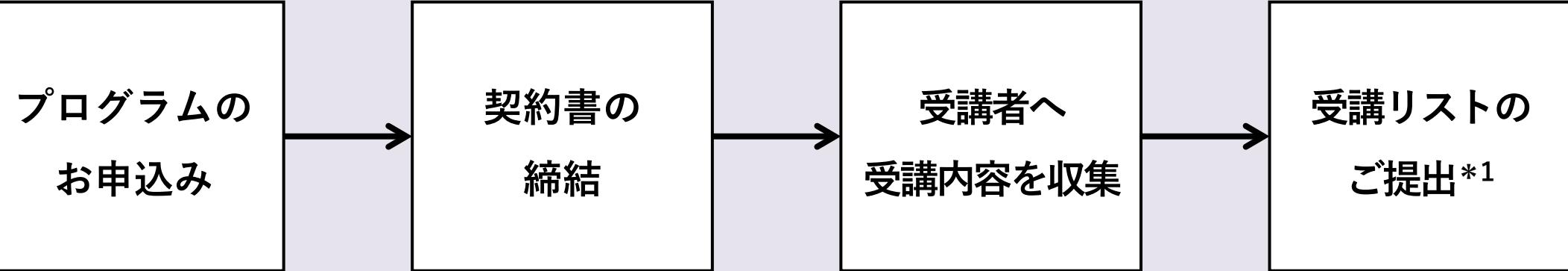
人口減少下の地域を考える  
小峰 隆夫（元国土交通省国土計画局長）

自治体経営に求められる  
7つの実践知  
片山 善博（元鳥取県知事、元総務大臣）

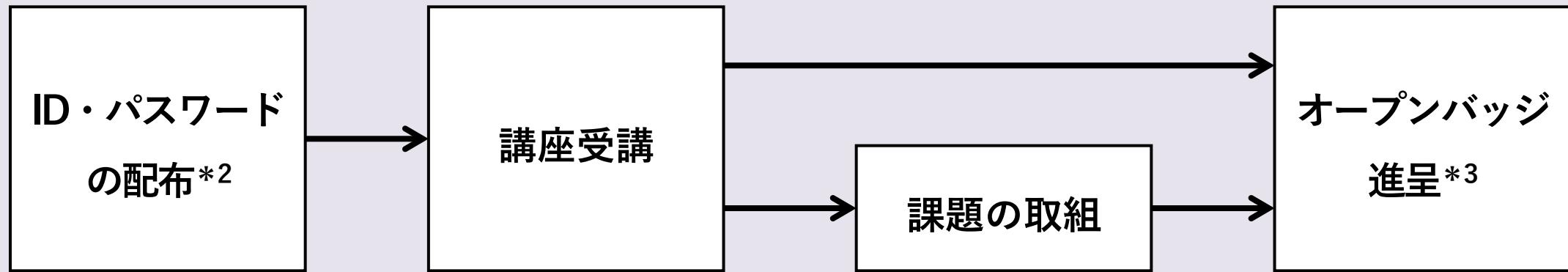
【PBL】  
地域間連携事業

【PBL】  
地域物産の振興と活用

研修ご担当者様



受講者様



\*1：プログラムをお申込みいただいた後、受講リストをお送りいたしますので、必要事項を入力のうえ、ご返信をお願いします

\*2：本学より受講者様のメールアドレスへ直接、ログイン用のIDとパスワードをご案内いたします

\*3：提出いただきました課題を本学で審査し、基準を通過した受講者様へオープンバッジを授与いたします

# 受講リスト イメージ

各受講者様のお名前、部署名、  
メールアドレスなどをご入力ください

各受講者様が希望する受講プログラムを  
4つ選択してください

受講者 NO	氏名	部署名	メールアドレス	受講プログラム			
				①	②	③	④
1	大正 太郎	商工観光情報部	<a href="mailto:t_taro@mail.tais.ac.jp">t_taro@mail.tais.ac.jp</a>	7つの実践知	離島活性化	データ分析 DXとAI活用演習	グリーンインフラ
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

スケジュール

お申込み  
開始

25年11月

お申込み  
〆切

26年2月

サービス  
開始

5月上旬

※お申込みについては26年2月以降についても承りますのでお気軽にご連絡ください

料金などの詳しい内容のお問い合わせや  
お申込みは下記までお気軽にご連絡ください

<お問い合わせ先>

- ・大正大学 理事長室 事業課
- ・メールアドレス：[support\\_sdr@mail.tais.ac.jp](mailto:support_sdr@mail.tais.ac.jp)



**MAKE  
YOUR  
UNIVERSE.**

一緒にだから つくれる世界を。